

ク린テートFX-UVの効果確認試験



5月10日 FX-UV



5月10日 GM



6月29日~7月11日 FX-UV



6月29日~7月11日 GM



7月16日 FX-UV



7月16日 GM

試験目的

ク린テートFX-UVの効果確認試験

試験作物
及び品種

ミニトマト

試験資材
及び数量(規格)

ク린テートFX-UV(0.1mm×740cm×53m)

慣行資材

ク린テートGM(0.1mm×740cm×53m)

栽培方法

播種日

5月上旬

収穫日

6月上旬

資材使用期間

3月上旬~10月下旬

試験区面積

100坪

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品と比較し気になる点はなかった。

ハウスにかける際も滑りにくなる等の問題もなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

収量、捕虫数については慣行品と比較し、差がなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：流滴性、透明度が向上されたと思われる。慣行品より光が多く入るため、9~10月の寒い時期での使用について慣行品より優れていると感じた。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

1年目の段階では強度に差がなかった。

しかし、2年目以降の流滴性や強度については経過観察していきたい。

(5)促成・抑制効果について

慣行品と差がなかった。

(6)保温効果について

保温効果について慣行品と差がなかった。

ミニトマトは秋まで収穫を行うので、より光が入るFX-UVの方が保温効果は高いと思われる。

(7)雑草・病害虫の発生について

防虫効果については慣行品と差がなかった。

モニター感想

試験結果からFX-UVはGMと差がなかった。

そのためGMからFX-UVへの切替は問題ないと思われる。

JA担当者の感想(岩谷部長)

東旭川地区は施設園芸に力を入れており、物理的防除のため紫外線カットフィルムを使用する組合員が多い。

FX-UVへの切替については、パイプとの擦れにより塗膜が剥がれて2年目以降の流滴不良が発生するリスク、透明度が向上されることで温度上昇が急になり、葉やけが発生するリスクを危惧していたが、今回の試験ではそれが確認できなかったため、今後も経過観察していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

2年目以降の強度、流滴性の確認を行いたい。